

第2回 北部地域振興交流拠点連絡調整会議【概要】

日 時：令和5年12月25日（月）13時55分～14時35分

場 所：Web会議

出席者：堀口議長、高柳副議長、都丸委員、浪江委員、本多委員、小平委員、山下委員

1 会議の進め方

- ・本日の会議は、10月の第1回の会議で協議した内容を踏まえて、北部地域振興交流拠点で想定される機能の検討状況の確認を行うものである。

2 想定される機能に関する主な説明

- ・県では、「DXを前提とした未来のオフィス」「地域機関の集約」「産業振興機能」等について検討を進めている。
- ・「未来のオフィス」について、DX視点で業務の課題解決に資するアイデアの検討を幅広く行っている。ここで検討されたアイデアなど、県民の利便性向上等につながるソフト面の施策を北部地域振興交流拠点にも取り入れていきたい。
- ・「地域機関の集約」について、複数の地域機関の集約により、建設や維持管理コストが縮減できるほか、手続きをワンストップで行えるようになるなど、県民や事業者にとって利便性向上の点でメリットとなる部分も多い。北部地域振興交流拠点の整備と併せて、一部の地域機関を集約するかも含めて、地域機関の最適な配置の在り方について業務の内容や必要な面積等幅広い観点から総合的に判断していきたい。
- ・「産業振興機能」について、昨年度に「北部地域産業振興機能検討委員会」を設置し、基本コンセプトや基本的方向性、導入すべき機能などについて提言をいただいた。この提言を受け、今年度は「北部地域産業振興施設等検討委員会」において、導入する産業振興施設や、そこで実施する具体的なソフト事業などの検討を行っており、年度末に提言をいただく予定である。

- ・市としては、シビックコアの視点を踏まえ、「一部行政機能の北部拠点への集約」「国・県との行政機能の連携」の実現に向け、導入する行政機能と必要面積等、敷地の一体活用等の各分野について検討を進めている。
- ・今後、「熊谷市庁舎整備検討委員会」を設置し、北部拠点へ移転すべき行政機能と規模の検討を行い、想定されるパターンの準備を進めていきたい。検討にあたっては、時代に即した市役所を目指してDXを推進し、市民のオンライン手続きと並行して、関連する業務の窓口をフロアごとにまとめたいと考えている。
- ・北部地域振興交流拠点の敷地の一体活用の要否についても、県と市で共通認識を持ち検討を進めていきたい。

3 その他

- ・県と市の調整状況等について意見交換を行い、今後、幹事会等で検討した結果を第3回会議で報告する方向性を確認した。